

# 2024年12月期第2四半期（中間期） 決算説明会資料

サカタインクス株式会社

2024年8月26日

東証プライム | 証券コード:4633

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

■ 長期ビジョン 基本方針	P3	■ 2024年12月期 通期予想および今後の計画	
■ 2024年12月期 第2四半期(中間期) 決算要点	P4	・通期連結業績予想	P15
■ 2024年12月期 第2四半期(中間期) 決算サマリー		・セグメント別 通期業績予想	P16
・ 連結実績	P5	・投資実績および予定額	P17
・ 前年同期比 要因別増減	P6	・株主還元(配当)	P18
・ セグメント別 実績 (売上高・営業利益)	P7		
■ セグメント別業績		■ 持続的成長を目指すサカタインクスグループ	
・ 印刷インキ・機材 (日本)	P8	・新しい事業領域への挑戦	P19
・ 印刷インキ (アジア)	P9	・地球環境と地域社会を重視した	
・ 印刷インキ (米州)	P10	ESG・サステナビリティの取り組み強化	P22
・ 印刷インキ (欧州)	P11		
・ 機能性材料	P12		
■ 連結貸借対照表・キャッシュフロー計算書	P13		

※2024年12月期より、営業外収益に計上していた受取ロイヤリティーを売上高に含めて計上することに変更しました。  
各頁の数値については、遡及適用後の数値を記載しています。

SAKATA INX VISION 2030

Create and Innovate, Care for the Earth, Color for Life

あなたと、つくる、価値ある、あした

長期ビジョン戦略の方向性

- 印刷インキ・機能性材料事業の拡大
- 新しい事業領域への挑戦
- 地球環境と地域社会を重視したESG・サステナビリティの取り組み強化

変革プロジェクト

- グローバル連結経営のさらなる強化
- ステークホルダーとの関係強化
- 人財育成の強化・組織風土の改革

基盤構築

中期経営計画2023  
CCC-I

事業拡大・収益力強化

中期経営計画2026  
CCC-II

長期ビジョン実現へ

中期経営計画2029  
CCC-III

2030

..... DXの推進、資本コストを意識した経営 .....

2024年1月

2026年12月

## 中間期実績

海外での原材料価格が落ち着いたことに加え、  
アジアを中心に数量が拡大し、また欧米も販売が堅調に推移したことにより**増収増益**

## 通期業績予想

上期の好調な業績結果と下期の販売計画や原材料動向から、通期業績予想を**上方修正**

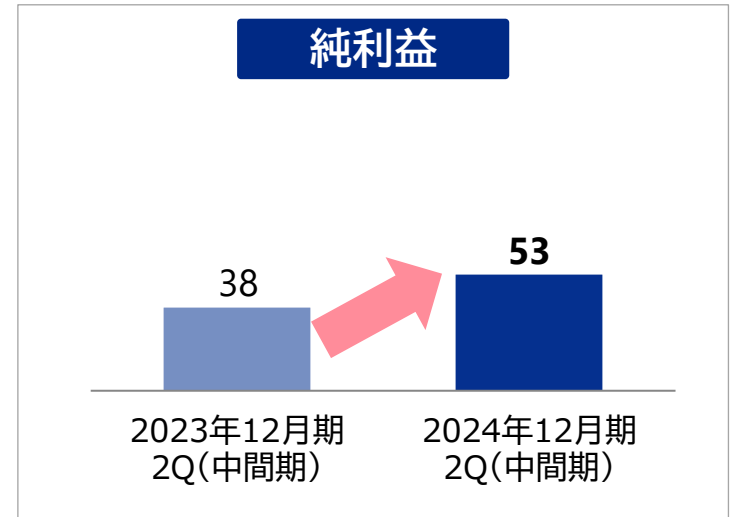
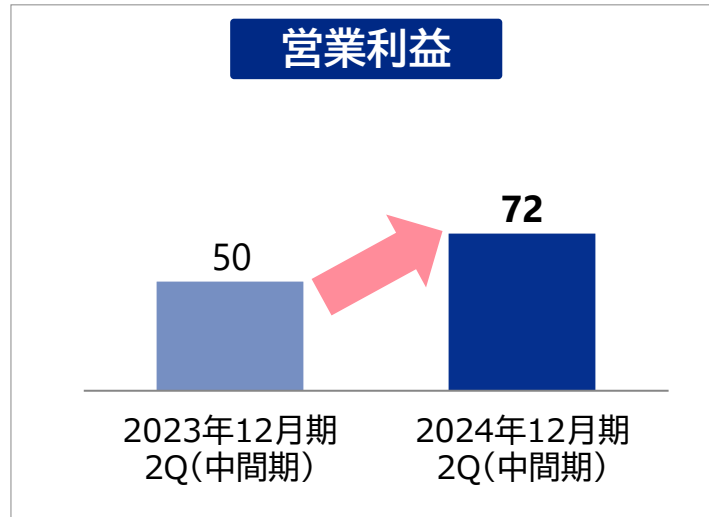
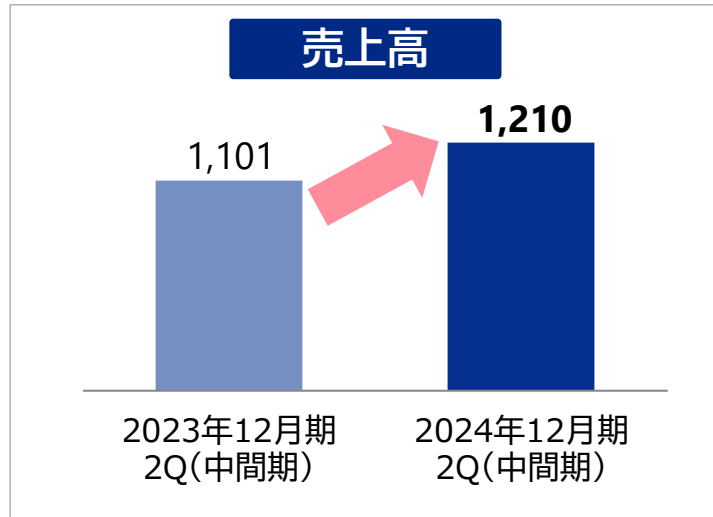
## 株主還元

- ・総額10億円の**自己株式取得**を実施(2024年8月6日取得完了)
- ・上期好調な業績を踏まえ、**中間配当を増配。期末配当予想も上方修正**

## トピックス

- ・ FTSE Blossom Japan Index 構成銘柄に初めて選定
- ・ Ecovadis社のサステナビリティ評価においてイギリス、スペインの現地法人が「シルバー」評価を獲得

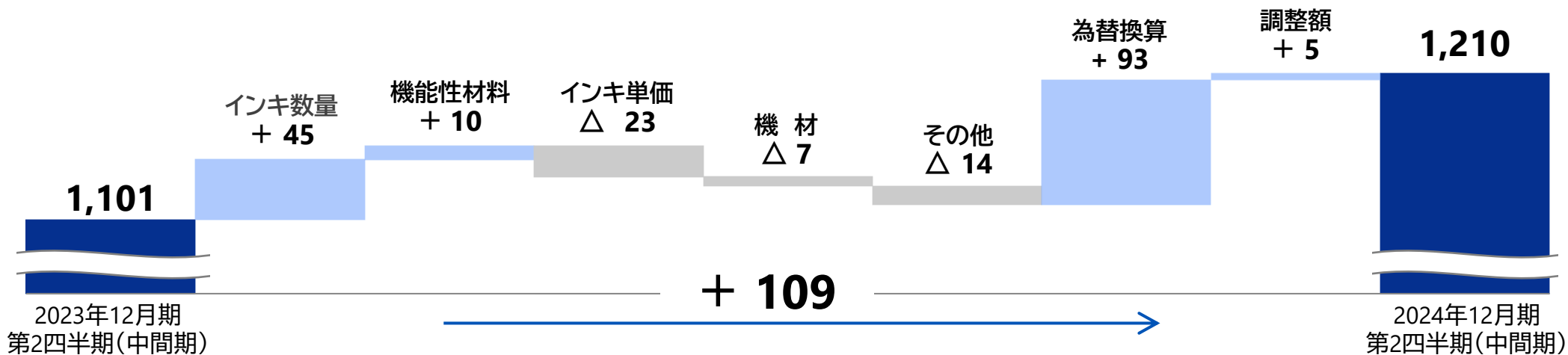
単位:億円



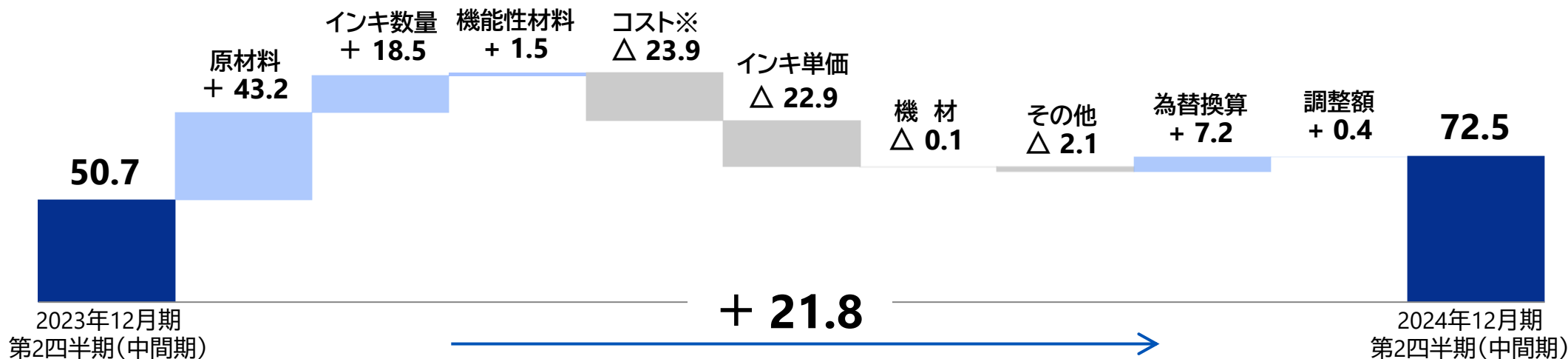
	2023年12月期2Q(中間期)		2024年12月期2Q(中間期)				
	金額	売上高比率	金額	増減額	増減率(%)	為替換算影響額	為替影響排除後増減率(%)
売上高	1,101		<b>1,210</b>	109	9.9	93	1.4
営業利益	50	4.5%	<b>72</b>	21	42.9	7	28.6
経常利益	64	5.8%	<b>71</b>	7	11.2	6	1.3
親会社株主に帰属する 中間純利益	38	3.4%	<b>53</b>	15	39.5	5	26.3
期中レート(USドル)	134.86円		<b>152.25円</b>				

## 2024年12月期第2四半期(中間期) 前年同期比 要因別増減

### 売上高 (億円)



### 営業利益 (億円)



※コスト: 製造経費や販管費など

セグメント別 実績 (売上高・営業利益)

単位:億円	売上高			営業利益		
	2023年12月期 2Q(中間期)	2024年12月期 2Q(中間期)	増減率(%)	2023年12月期 2Q(中間期)	2024年12月期 2Q(中間期)	増減率(%)
印刷インキ・機材(日本)	261	<b>254</b>	△2.6	5	<b>5</b>	1.3
印刷インキ(アジア)	241	<b>291</b>	20.7	15	<b>28</b>	82.0
印刷インキ(米州)	383	<b>428</b>	11.8	24	<b>27</b>	9.0
印刷インキ(欧州)	95	<b>111</b>	16.7	△3	<b>2</b>	—
機能性材料	81	<b>96</b>	17.7	9	<b>11</b>	22.5
報告セグメント計	1,062	<b>1,181</b>	11.2	51	<b>75</b>	45.1
その他	74	<b>59</b>	△19.2	2	<b>0</b>	△87.1
調整額	△35	<b>△30</b>	—	△3	<b>△3</b>	—
合計	1,101	<b>1,210</b>	9.9	50	<b>72</b>	42.9

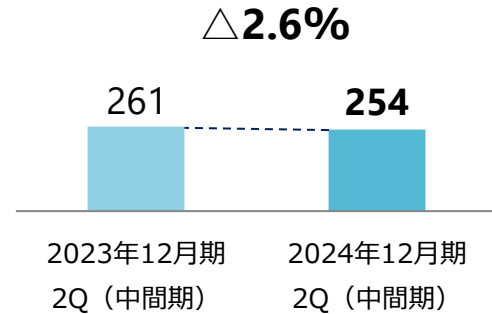
セグメント別 売上高構成比



※調整後消去前

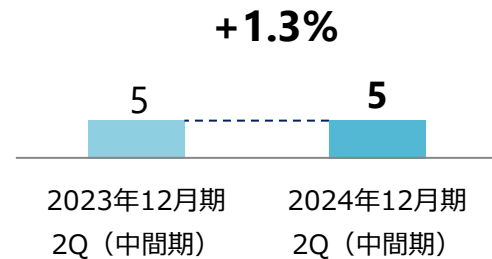
- アジアや南米などを中心に海外で販売数量拡大
- 海外の原材料価格の安定化
- 機能性材料はインクジェットインキが販売好調

## 売上高（単位：億円）



2024年 12月期	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	122	132	—	—
前年同期比(%)	△5.8	+0.5	—	—

## 営業利益（単位：億円）



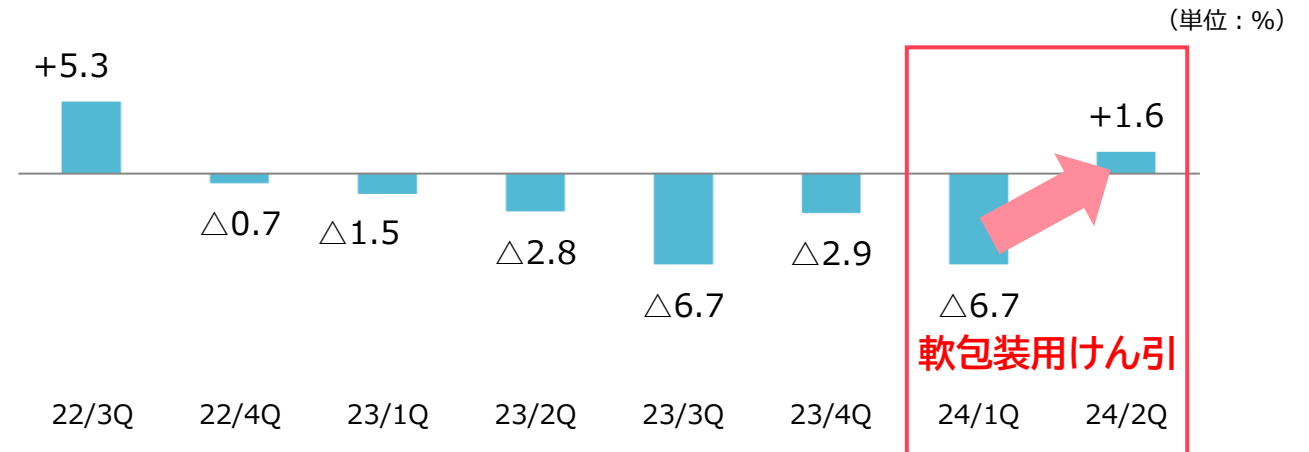
2024年 12月期	1Q	2Q	3Q	4Q
営業利益	3	1	—	—
前年同期比(%)	+59.8	△42.0	—	—

販売品目：パッケージ用、情報メディア用、印刷関連機材

売上高：情報メディア、機材販売の低調が影響するも、軟包装需要は2Qにやや回復

営業利益：価格改定効果継続（4月に再度パッケージ用印刷インキ価格改定発表）  
原材料価格高止まり、ERPシステム導入関連経費や人件費増

パッケージ用インキ販売数量増減（前年同期比）

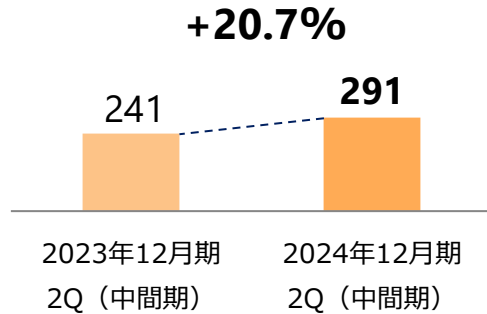


## 事業構造改革について

- ・生産の効率化（不採算品目の廃止、生產品目の統廃合、生産拠点の見直し）
- ・ERPシステムの活用やBPRの推進
- ・販売体制の見直し（3月に青森営業所の閉鎖）
- ・重点強化事業への人員の再配置
- ・同業他社との協業（生産、物流） など

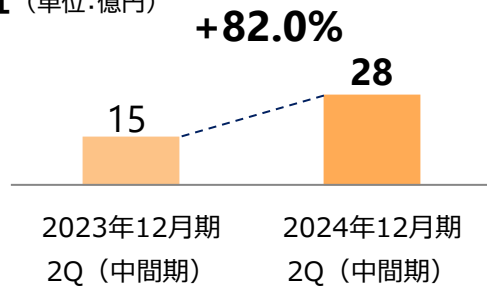


売上高 (単位:億円)



2024年 12月期	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	148	142	—	—
前年同期比 (%)	+26.0	+15.7	—	—

営業利益 (単位:億円)



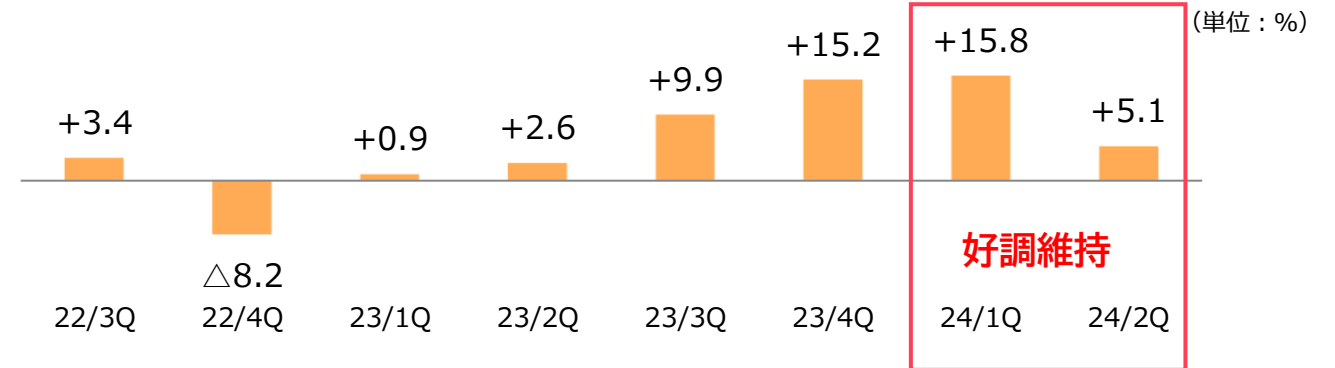
2024年 12月期	1Q	2Q	3Q	4Q
営業利益	15	13	—	—
前年同期比 (%)	+109.0	+57.2	—	—

販売品目：パッケージ用、情報メディア用(インドなど一部)、メタル(中国、ベトナムなど一部)

売上高：すべての現地法人が前年同期比で増収(3月末に売却した中国のオフセット事業除く)

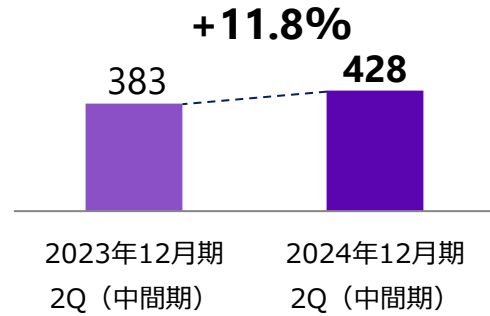
営業利益：販売数量増加と原材料価格の安定化により、増益

パッケージ用インキの販売数量増減(前年同期比)



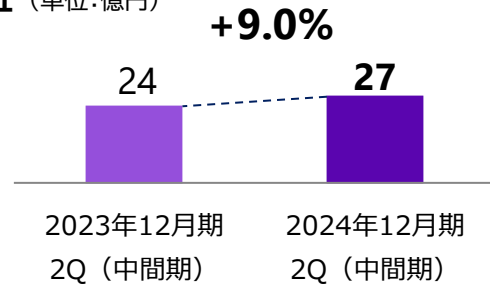
地域	数量 (前年比)	概況
インド	+6.7	新聞は低調に推移するも、商業オフセットインキの拡販が進む。またパッケージ用は環境配慮型タイプの拡販が進み、中東地域向け輸出も好調
インドネシア	+12.1	インドネシア経済の好調を受け、パッケージ用の需要増と拡販が進む
ベトナム	+20.9	ベトナム経済の回復基調に合わせて販売も好調に推移。カンボジアへの販売も進む
タイ	+37.1	タイ経済の好調の影響と、大手得意先への拡販が進み、パッケージ用が大幅増

売上高 (単位:億円)



2024年 12月期	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	203	224	—	—
前年同期比(%)	+8.8	+14.7	—	—

営業利益 (単位:億円)



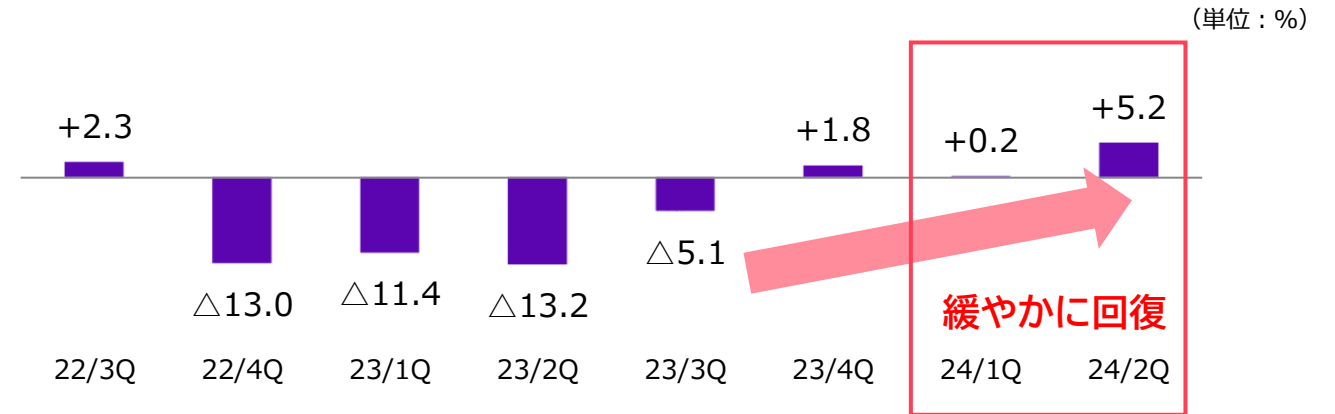
2024年 12月期	1Q	2Q	3Q	4Q
営業利益	13	13	—	—
前年同期比(%)	+18.5	+1.0	—	—

販売品目：パッケージ用、情報メディア用(北米)、メタル

売上高：パッケージ、メタルが緩やかに販売数量回復

営業利益：原材料価格が落ち着いて推移し、数量増と為替換算影響もあり増益  
顧客からの価格協力要請により販売単価は減少、また人件費高騰で経費増

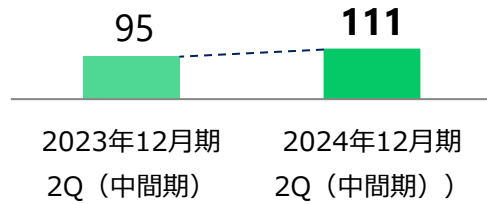
パッケージ・メタル用インキの販売数量増減(前年同期比)



地域	数量 (前年比)	概況
北米	+ 1.3	パッケージ、メタルが回復基調にあり数量増加
ブラジル	+ 12.4	南米地域での拡販によりメタルの出荷量増加

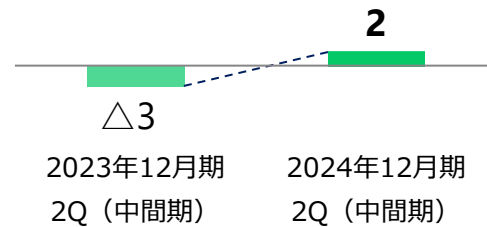
売上高 (単位:億円)

+16.7%



2024年 12月期	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	55	56	—	—
前年同期比 (%)	+18.1	+15.4	—	—

営業利益 (単位:億円)



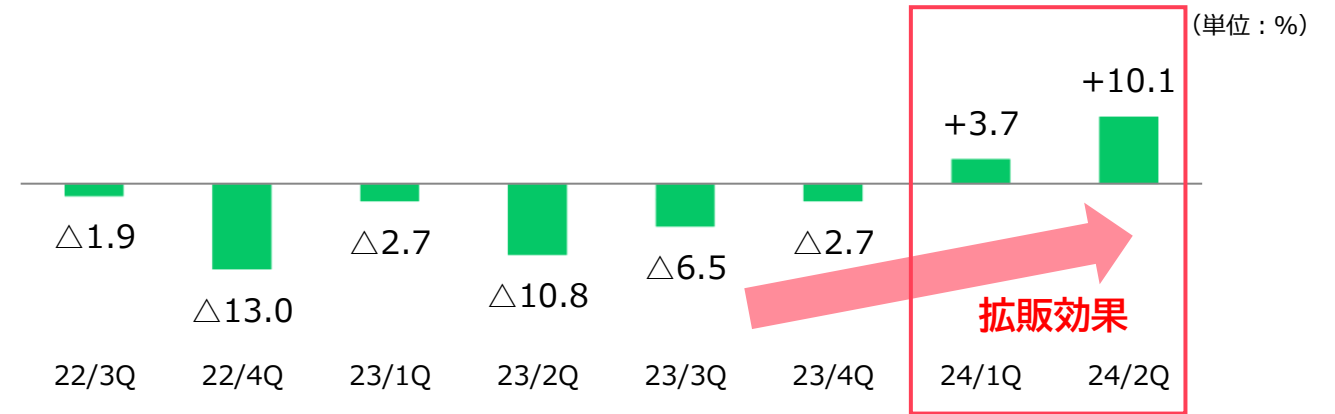
2024年 12月期	1Q	2Q	3Q	4Q
営業利益	2	0	—	—
前年同期比 (%)	—	—	—	—

販売品目：パッケージ用、情報メディア用、メタル

売上高：パッケージ、メタルは拡販が進み好調に推移、ドイツで生産している特殊用途も回復

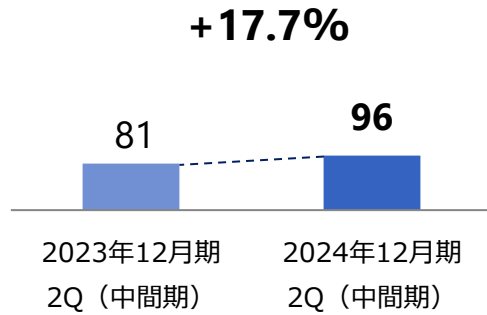
営業利益：競合他社による価格攻勢で単価は減少するも、数量増や原材料価格が落ち着いて推移したことに加え、経費増を抑えたこともあり増益。3拠点とも黒字化達成

欧州セグメントの販売数量増減(前年同期比)



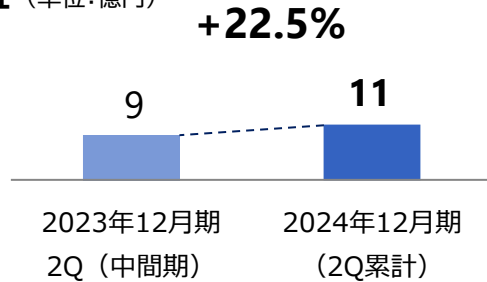
地域	数量 (前年比)	概況
UK	+ 4.5	ロシア向けメタルのロスト分を既存顧客や中東・アフリカ方面で拡販が進む
スペイン	+ 5.2	拡販により環境配慮型パッケージ用の数量増
ドイツ	+ 16.2	特殊用途(パッドプリンティング向け)の販売が回復。パッケージ用の拡販継続

売上高 (単位:億円)



2024年12月期	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	44	51	—	—
前年同期比 (%)	+7.3	+28.3	—	—

営業利益 (単位:億円)



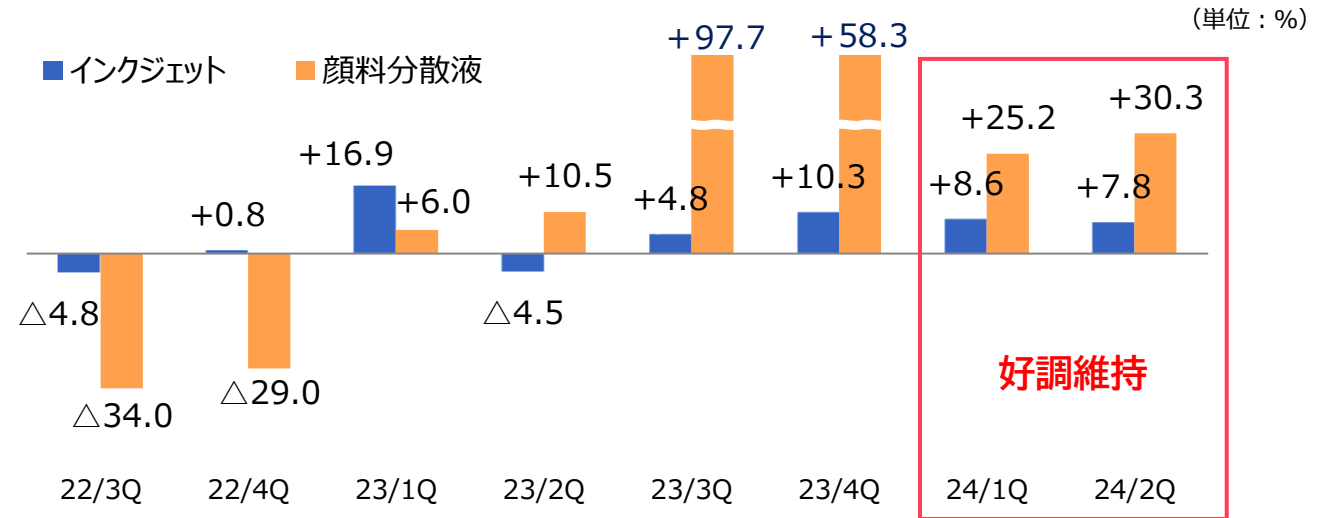
2024年12月期	1Q	2Q	3Q	4Q
営業利益	6	5	—	—
前年同期比 (%)	+20.7	+24.6	—	—

販売品目：産業用インクジェットインキ、カラーフィルタ用顔料分散液、カラートナー

売上高：日本、海外ともにインクジェットインキの拡販により販売が好調  
ディスプレイ関連材料(顔料分散液)も液晶パネル市況の改善の中、販売が進む

営業利益：インクジェットインキ、ディスプレイ関連材料(顔料分散液)の販売増加により増益

インクジェット、顔料分散液の販売数量増減 (前年同期比)



品種	数量 (2Q累計前年比)	概況
インクジェット	+8.2	市場の需要回復と拡販が進む
顔料分散液	+28.0	需要は伸長するも、オリンピック需要が一服し、下期は生産調整局面に入る見込み

# — 連結貸借対照表・キャッシュフロー計算書

## 連結貸借対照表の主な増減 (単位:億円)

科目	2023年 12月31日現在	2024年 6月30日現在	増減
現金・預金	170	170	0
売上債権	594	622	28
流動資産	1,105	1,182	77
固定資産	835	929	94
資産合計	1,940	2,112	171
仕入債務	396	405	9
短期借入金	117	110	△6
流動負債	618	632	14
長期借入金	112	111	△0
固定負債	266	291	25
負債合計	884	924	39
自己資本 ※	987	1,120	132
非支配株主持分	68	68	△0
純資産合計	1,056	1,188	132
負債・純資産合計	1,940	2,112	172
期末レート(USドル)	141.83円	161.07円	—

## 連結キャッシュフロー計算書 (単位:億円)

科目	期別	2023年12月期 2Q(中間期) (2023.1.1~6.30)	2024年12月期2Q(中間期) (2024.1.1~6.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー		37	46
投資活動によるキャッシュ・フロー		△40	△25
財務活動によるキャッシュ・フロー		11	△26
現金及び現金同等物の中間期末残高		138	164

## 主な財務指標

### 有利子負債合計

2023年12月末	264億円
2024年 6月末	273億円

### 自己資本比率

2023年12月末	50.9%
2024年 6月末	53.0%

※ 自己資本

= 株主資本合計 + その他の包括利益累計額合計

### D/Eレシオ

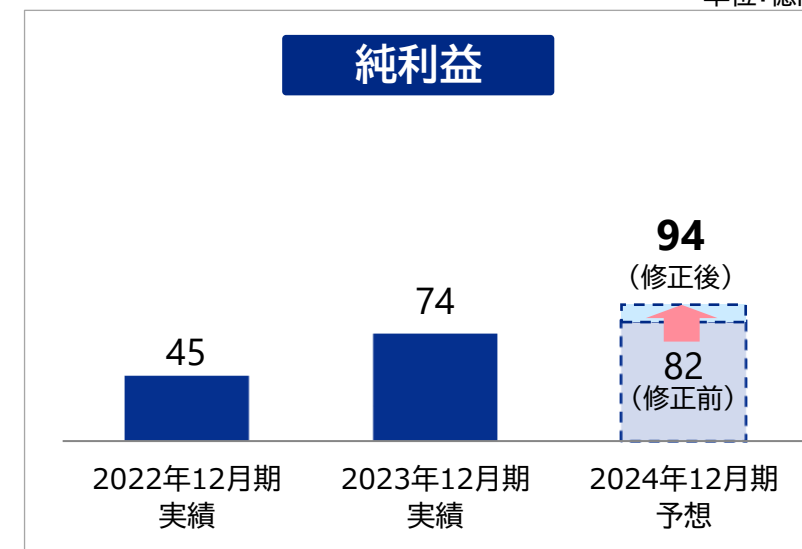
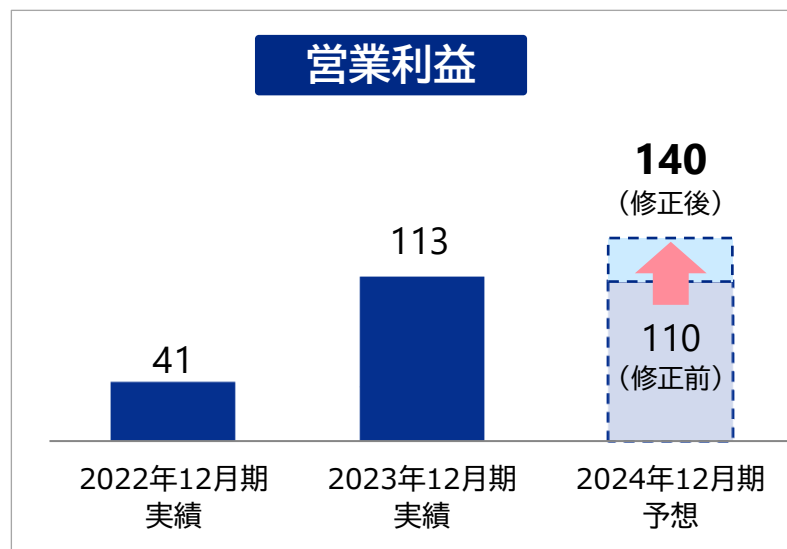
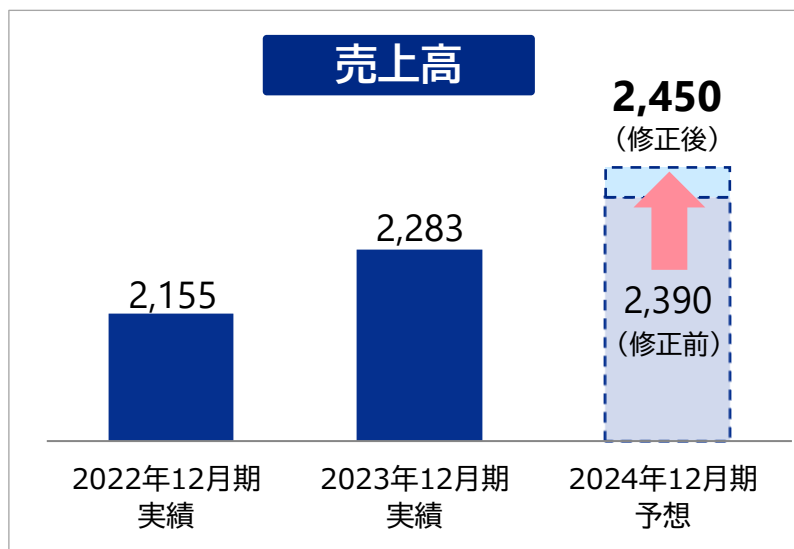
2023年12月末	0.27
2024年 6月末	0.24

### 総資本回転率

2023年12月末	1.12
2024年 6月末	1.16

# 2024年12月期 通期予想 および今後の計画

単位:億円



	2022年12月期		2023年12月期		2024年12月期通期予想(修正)				2026年度 中期経営計画比較	
	金額	売上高比率	金額	売上高比率	金額	前年比 (増減額・率)	2/14予想比 (増減額・率)		2026年度 計画値	達成率 (予想)
売上高	2,155		2,283		<b>2,450</b>	166 7.3%	60 2.5%		2,700	90.7%
営業利益	41	1.9%	114	5.0%	<b>140</b>	25 22.3%	30 27.3%		180	77.8%
経常利益	49	2.3%	136	6.0%	<b>139</b>	2 1.9%	16 13.0%		190	73.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	45	2.1%	74	3.3%	<b>94</b>	19 25.9%	12 14.6%		127	74.0%
期中レート(USドル)	131.43円		140.56円		<b>151.00円</b>					

単位:億円

単位:億円	売上高			営業利益		
	2023年12月期	2024年12月期 (予想)	前年比	2023年12月期	2024年12月期 (予想)	前年比
印刷インキ・機材(日本)	529	<b>526</b>	△0.7	14	<b>9</b>	△33.6
印刷インキ(アジア)	524	<b>589</b>	15.0	43	<b>56</b>	33.8
印刷インキ(米 州)	788	<b>859</b>	11.5	46	<b>50</b>	5.2
印刷インキ(欧 州)	195	<b>222</b>	16.6	△7	<b>3</b>	—
機能性材料	168	<b>194</b>	16.8	18	<b>22</b>	22.1
報告セグメント 計	2,206	<b>2,392</b>	8.4	115	<b>143</b>	24.7
その他	153	<b>123</b>	△19.2	4	<b>1</b>	△67.8
調整額	△75	<b>△65</b>	—	△5	<b>△5</b>	—
合 計	2,283	<b>2,450</b>	9.0	114	<b>140</b>	22.3

日 本：パッケージ用が緩やかに回復するが、経費増加を見込む

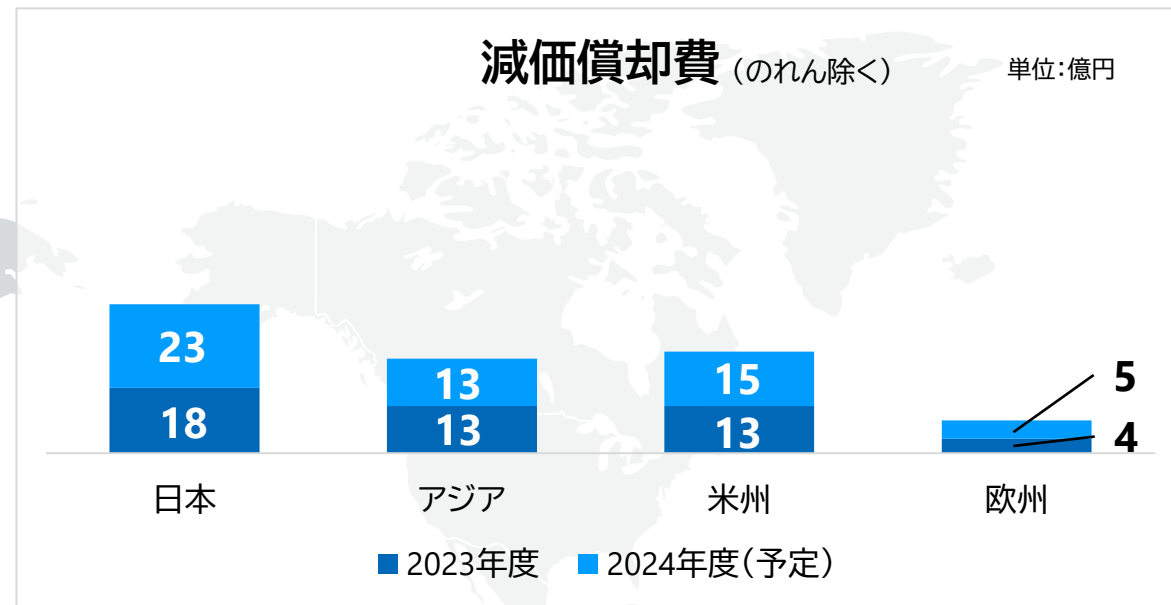
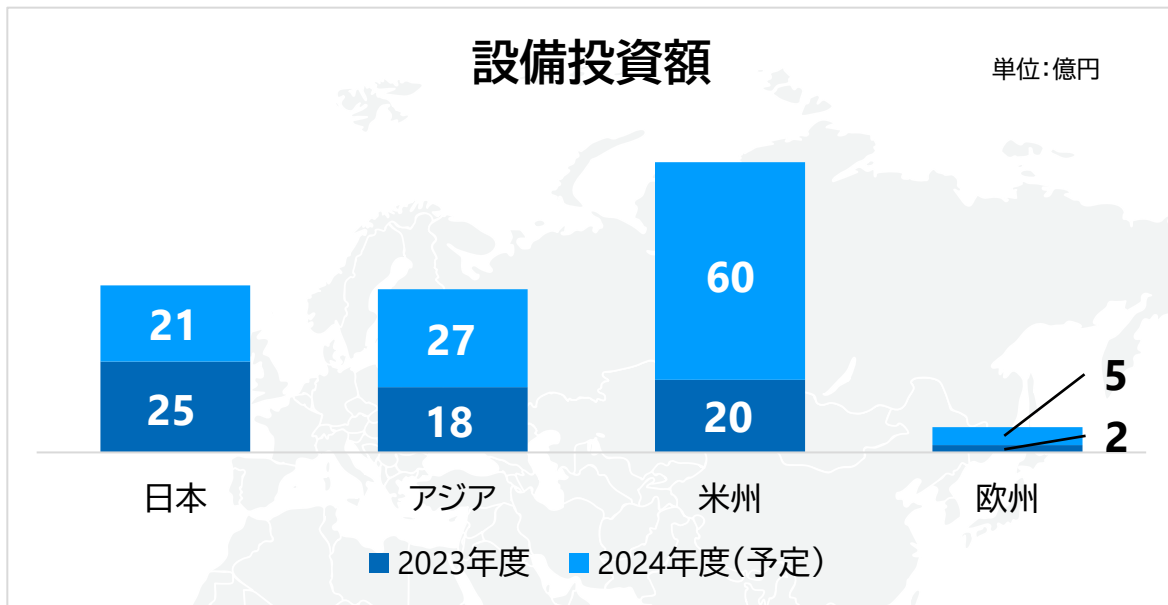
欧 州：拡販が進み、2026年度黒字化を前倒しで達成できる見込み

アジア：パッケージ用の販売が引き続き好調に推移する見込み

機能性材料：インクジェットの販売増とディスプレイ材料の拡販を見込む

米 州：メタル、パッケージ用の回復が進み、南米でも拡販が進む





## 主な投資内容

### 設備投資計

**250**億円

### 減価償却費

**200**億円

(2024-2026年累計)

### 2024年度

**日本** : ERP導入(2024年3月)  
 大阪工場リニューアル(2024年10月予定)

**アジア** : フィリピン新工場建設(2024年9月完工予定)  
 上海 顔料分散液設備増設(2024年3Q予定)

**米州** : 北米新工場建設関係  
 ブラジル新工場建設関係

### 2026年までの計画

**日本** : 東京工場 危険物/原材料倉庫(2026年)

**アジア** : ERP導入(インド / 2025年)  
 製造設備増設(ベトナム、タイ / 2025年)

**米州** : 北米新工場建設関係(2026年)  
 ブラジル新工場建設(2025年1月完工予定)

株主還元方針

積極的かつ安定的な配当と機動的な自己株式の取得

目標

2026年までに総還元性向 **50%**以上 または **DOE(株主資本配当率)2.5%**以上のいずれか高い方

■ 中間 ■ 期末

単位:円

**26年連続減配なし、2年連続増配**



配当金(円)	30	30	30	35	55
配当性向	33.2	35.5	35.1	23.5	29.2
EPS(円)	90.32	84.43	85.52	149.22	188.61
総還元性向	33.2	35.5	215.5	23.5	39.8
DOE	2.2	2.2	1.9	1.9	—
自己株式取得額(億円)	—	—	81.9	—	10.0

■ 新しい事業領域への挑戦

社会課題：模倣品の氾濫による、ブランド価値や信頼の低下



豊富なセキュリティソリューションを持つOpSec Securityと国内に多彩なネットワークを持つサカタインクスが、強力なブランドプロテクションを拡大していく

模倣品の被害



模倣品被害額  
(グローバル 推計)

**4,640**億ドル  
(約50.6兆円)



模倣品被害額  
(日本 推計)

**293**億ドル  
(約3.2兆円)



模倣被害対策を  
していない企業割合\*  
(日本 推計)

**約8割**  
(約16万法人)

OpSec Security

ブランド保護技術のグローバルリーディングカンパニー

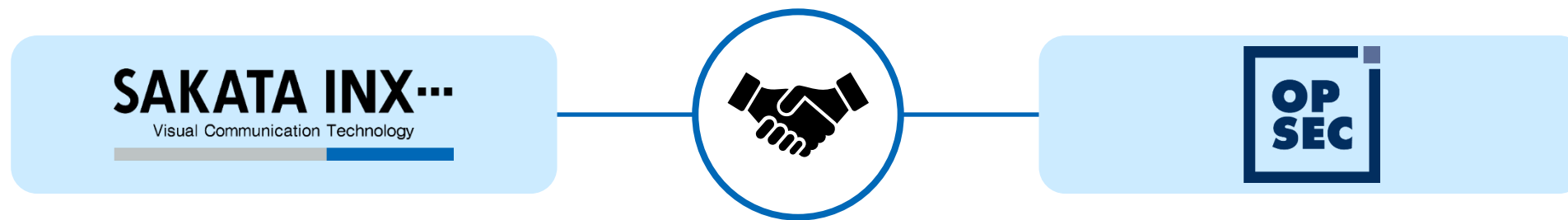
- 本社所在: 40 Phoenix Road, Washington, Tyne & Wear NE38 0AD, 英国
- C.E.O : Selva Selvaratnam
- 従業員数: 約1300名(2023.4時点)
- 主な取引先: 主要クレジットカード会社・政府機関・自動車メーカー・スポーツブランド・他

※ 2018年度において産業財産権を保有する法人のうち

出典 特許庁: 令和3年度我が国法人の産業別模倣被害推計調査研究事業  
特許庁: 2019年 模倣被害実態調査報告書

— 持続的成長を目指すサカタインクスグループ

■ 新しい事業領域への挑戦



全方位で包括的なブランドプロテクションにより  
消費者の安全とお客様に高度なセキュリティと信頼性を提供

企業の課題	模倣品対策	平行輸入対策	著作権/商標権侵害対策	ブランド棄損、売上損失	コンテンツ侵害
プロダクト & ソリューション	<u>製品認証プロダクト</u>		<u>デジタルソリューション</u>		<u>オンラインブランド プロテクション</u>
	 ブランド正規品の認証	 サプライチェーン管理 トレーサビリティ	 オンラインブランド プロテクション		
	 セキュリティフィルム/ラベル	 カスタマーエンゲージメント	 フィッシング対策		
 政府へのソリューション	 ライセンス管理 プラットフォーム	 海賊版対策			

— 持続的成長を目指すサカタインクスグループ

■ 地球環境と地域社会を重視したESG・サステナビリティの取り組み強化

鉄の大手専門商社エムエム建材株式会社と金属スクラップなどのリサイクル実証実験開始

▼ 金属スクラップのリサイクル循環図



当社の大阪工場、東京工場で発生している、運搬用のドラム缶や石油缶、コンテナといった廃棄物や、廃却生産設備などのリサイクルを実証実験という形で進めており、その有効性を確認しています。

滋賀工場敷地内の緑地「サカタの森」が環境省の自然共生サイトに認定



ナツアカネ  
滋賀県レッドデータブック近畿 2020年度版



カワヂシャ  
環境省レッドリスト (NT:準絶滅危惧種)

「サカタの森」

琵琶湖や伊吹山などの豊かな自然に囲まれた地で、それらをつなぐ生態系ネットワークの形成に寄与する緑地や水辺を提供し、地域全体の生物多様性保全に貢献しています。

「馴染みのある風景の創出」をコンセプトに、植栽には周辺の山林に見られる樹種を選定するなど、地域植栽を考慮しています。2023年に行った生態系調査では、希少種を含むさまざまな動植物が確認されました。

— 持続的成長を目指すサカタインクスグループ

■ 地球環境と地域社会を重視したESG・サステナビリティの取り組み強化

「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄への**初選定**



FTSE Blossom  
Japan Index

Ecovadis社におけるサステナビリティ調査において  
当社子会社が「**シルバー**」評価を取得

INX INTERNATIONAL UK LTD.(イギリス) ※2年連続  
SAKATA INX ESPANA, S.A. (スペイン) ※初取得



CDP「気候変動」、「水セキュリティ」スコアレポートで**B評価**を取得



統合報告書2024発行





# SAKATA INX...

Visual Communication Technology

お問い合わせ先

サカタインクス株式会社 コーポレートコミュニケーション部

 電話 03-5689-6601

 メール [inx-prir@inx.co.jp](mailto:inx-prir@inx.co.jp)